

(独) 農研機構 女性研究者支援から全職員のワークライフバランス支援へ

農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）は、食料・農業・農村に関するわが国最大の研究機関です。国内農業の競争力強化のための技術開発を行い、食料自給率の向上、安全・安心な食料の安定供給、地域の経済活性化や環境保全に貢献することを使命としています。

農研機構は全国に研究拠点があり、多様な農業形態に対応した研究開発を行っております。女性研究者は、地域の研究拠点にも多数配置されていますが、拠点毎では女性研究者の数は少なく孤立し易いという状況があります。また、女性研究者の約半数が 30 代であることから出産・育児による研究中断に大きな不安があること、職階が上がるに連れて女性割合が低くなり女性幹部職員の数に限られていること等の課題があります。そこで、平成 21 年度から 23 年度にかけて文部科学省科学技術振興調整費女性研究者研究活動支援事業「元気な農と食を支える女性研究者支援モデル」に取り組み、女性研究者支援を推進しました。また、平成 22 年 1 月に「男女共同参画宣言」掲げ、同年 3 月には 5 年間での具体的な数値目標を明記した「男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画を進めております。

【「元気な農と食を支える女性研究者支援モデル」の主な取組と実績】

- ①理事長直轄の「男女共同参画本部」および「女性研究者支援室」を設置し、女性研究者支援体制を構築
- ②研究者の新規採用における女性割合 30%以上を目標とした取組の結果、研究者における女性割合が向上（H20 年度末 13.2%→平成 23 年度末 15.4%）
- ③中堅研究者に占める女性割合向上や女性幹部職員数の倍増を目標とした取組の結果、平成 23 年度の中堅研究者の女性割合 7.1%、幹部職員の女性割合は 3 倍（6 名）まで増加
- ④民間託児所またはベビーシッター利用による一時預かり保育支援制度を実施
- ⑤ホームページ開設やニュースレターの発行を通じた男女共同参画に対する職員の意識啓発
- ⑥パンフレットの作成等により、業務と家庭生活の両立のための休業・休暇制度について周知
- ⑦女性研究者のキャリア形成のために若手女性研究員をメンティーとしたメンター制度の実施

事業終了後は、「女性研究者支援室」を発展的に解消して新たに「男女共同参画推進室」を設置し、女性研究者支援だけでなく全職員を対象としたワークライフバランス支援に取り組んでいます。これらの取組の結果、平成 26 年 4 月には初めて 1 名の女性役員が誕生し、研究者における女性割合は 16.6%、幹部職員における女性割合は 6.1%（8 名）まで増加しています。今後も農研機構全体の取組として、男女共同参画を進めていきます。

【事業終了後の主な取組】

- ①自己資金による育児・介護中の研究職員を対象とした研究支援要員雇用経費補助を実施
- ②人材育成を目的とした全職員対象のメンター制度を実施
- ③休日に開催する一般公開等において、臨時保育室を開設
- ④男女共同参画セミナー等の開催
- ⑤イメージキャラクター「おむすびなろりん」を活用したホームページの充実等による男女共同参画推進活動の積極的アピール

【連絡先】独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 男女共同参画推進室

TEL:029-838-7307 FAX:029-838-8525 E-mail:f-support@ml.affrc.go.jp

URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/kyodo-sankaku/>

女性研究者支援から全職員のワークライフバランス支援へ

男女共同参画宣言

農研機構は多様な人材が、それぞれの条件のもとで持てる力を十分に発揮して業務に取り組み社会貢献を果たすことができる職場環境の創造を目標に、男女共同参画を推進しています。

基本方針

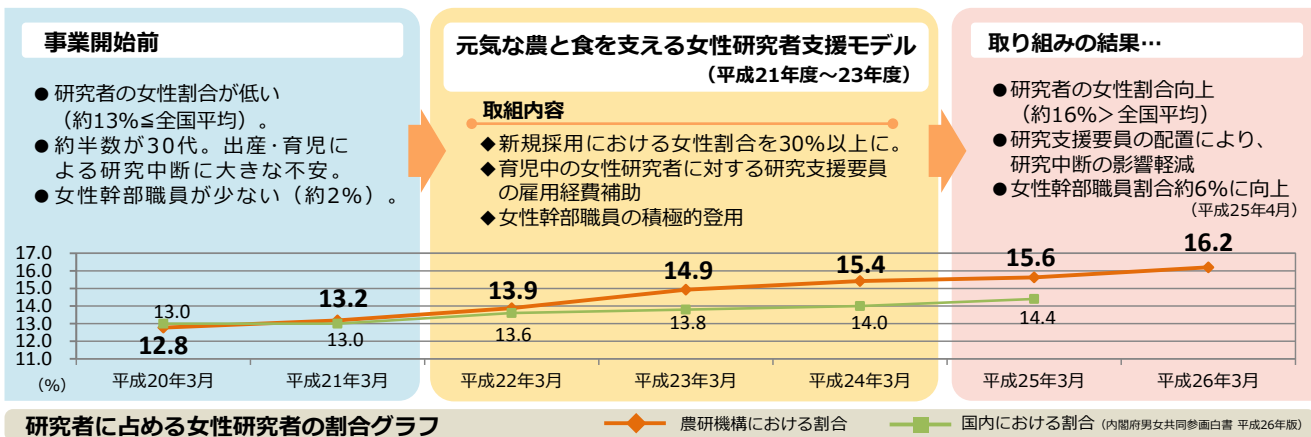
- 1 研究活動等の業務における男女共同参画を推進する。
- 2 役職員への啓発活動を推進する。
- 3 組織運営上の意思決定における男女共同参画を推進する。
- 4 職場環境を整備し、業務と家庭生活の両立を支援する。
- 5 地域社会や国際社会等との連携を通じ、男女共同参画を推進する。



農研機構 男女共同参画推進キャラクター おむすびなりりん

文部科学省科学技術振興調整費「元気な農と食を支える女性研究者支援モデル（平成21～23年度）」の取り組み

農研機構では、平成21年度に男女共同参画本部を設置し、本事業による女性研究者支援に取り組みました。



全職員を対象としたワークライフバランス支援

平成24年度からは新たに「男女共同参画推進室」を発足させ、全職員を対象としたワークライフバランス支援へと取り組みを強化しています。

研究支援要員雇用経費の補助

育児・介護に関わる女性研究職員の負担を軽減し研究の継続に資するため、研究支援要員（契約職員等）を雇用する経費を補助しています。

臨時保育室

一般公開等休日のイベント開催時に臨時保育室を開設しています。

情報提供

農研機構の育児介護に関する制度の紹介や、支援内容の説明等、ワークライフバランスに関する情報提供を行っています。



職員からニーズの高い「介護について考える」を開催しました。



若手研究者の交流を図る「若手フォーラム交流会」を開催しました。



一般公開イベントに出展し、ゲームを通じて活動の紹介などを行っています。

メンター制度

希望する若手職員に対して、気軽に相談できる先輩（メンター）を配置する制度です。上司とは別の観点から困難を乗り越えるヒントを得る事が出来ます。

セミナーの開催

男女共同参画セミナーや介護セミナーなど、職員のワークライフバランスに役立つセミナーを開催しています。



妊娠・育児・介護に関する農研機構の規程をポケットサイズにまとめました。



妊娠・育児中の部下がいる上司に向けたガイドブックを発行しました。



全国の研究所をめぐる、女性研究者の活躍の様子などを伝えるブログを発信しています。